



Dr.Salmon Newsletter

World News & Views

-Letters from Dr.Salmon, NSU-

Dear readers,

1週間ほど前、サッカーアジアカップの決勝戦、日本対オーストラリアがありましたね。私は、Northeastern State University (NSU) college of optometry にある私の研究室で数人の日本人学生と一緒にテレビで観戦しました。すごい試合でしたね。長友選手のすばらしいアシストから李選手が決勝ゴールを決めたときには、思わずみんなで叫んでしまいました。私は、オーストラリアの怒涛の攻撃からゴールを守り続けた日本のゴールキーパーの川島選手はもっと評価されるべきだと思います。

最近サッカーも人気が出てきましたが、アメリカではアメリカンフットボールが一番人気のあるスポーツであることに変わりはありません。今日(2月6日)は、アメリカ最大のイベントスーパーボウルが開催される日です。スーパーボウルは、アメリカンフットボールのプロリーグ、NFLの優勝決定戦です。テキサス州ダラスで開催されますが、ダラスはオクラホマ同様、数日前に大雪が降ったところです。



オクラホマは寒暖の差が激しい地域です。1週間前 22℃まで気温が上がり、学生たちが屋外でテニスを楽しんでいたかと思えば、今週は最低気温がマイナス 14℃まで下がり、地吹雪(ブリザード)にもなりました。氷や雪のために道路の状態もかなり悪く、大学を含む全ての学校が4日間休校になりました。最初、学生たちは休校になったことを喜びましたが、今は多くの学生が退屈しています。

今月のニュースレターでは、Contact Lens Spectrum の 2011 年 1 月号に掲載されていたアメリカでのコンタクトレンズ動向および世界的な動向についてまとめます。日本と比較して各国の状況がどのように異なるのかを読み取っていただくと面白いのではないのでしょうか

Thomas O. Salmon, OD, PhD, FAAO
Professor, Northeastern State University

VIA AIR MAIL

CooperVision® **4e** Program
enhance each and every contact lens experience.

Reviews

Contact Lens Spectrum はアメリカのコンタクトレンズ専門家やオプトメトリーの学生の間で一番人気のある専門誌です。Contact Lens Spectrum は 1986 年に、編集者であり、コンタクトレンズのパイオニアでもある Dr. Neal Bailey のリーダーシップのもとに創刊されて、今年で 25 周年になります。今月のニュースレターでは Contact Lens Spectrum の 2011 年 1 月号の中から下の 2 つの記事を取り上げます。

- Contact Lenses 2010 (A review of contact lens trends in the US)
- International Contact Lens Prescribing in 2010

Contact Lenses 2010 by Jason Nichols, OD, PhD

このところの不景気にもかかわらず、アメリカのコンタクトレンズ業界はこの 1 年間強さを発揮し、2011 年は 6% の成長が見込まれています。図 1 は、アメリカのコンタクトレンズ市場におけるメーカーごとのシェアです。

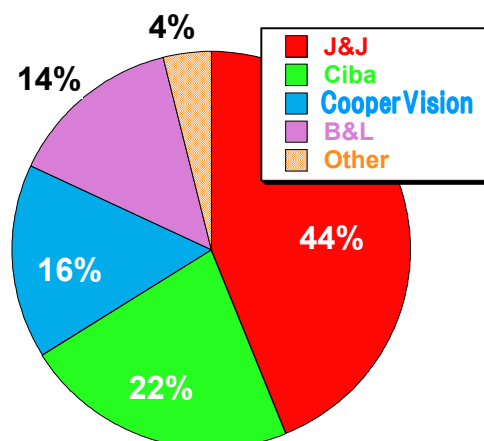


Figure 1 - Market share (US)

図 1. アメリカにおけるメーカーごとのシェア

医師は来年、どのコンタクトレンズメーカーを積極的に処方したいのかという設問の調査を受けました。28%の医師が Johnson & Johnson の数を減らすと答え、37%と 32%の医師がそれぞれ Ciba Vision と CooperVision のレンズを増やすと回答しました。調査を受けた医師は、週に平均 116 名の患者を診て、27 名にコンタクトレンズを処方していました。

図 2 は、素材別に見た、コンタクトレンズの割合を示しています。処方全体の約 66%がシリコンハイドロゲルレンズです。ハイドロゲルレンズ(従来素材のソフトレンズ)が 25%、ガス透過性ハードコンタクトレンズが 8%でした。シリコンハイドロゲルレンズは 1 年に約 5%ずつ増加しているようなので、2012 年までに、アメリカ市場の 70%を上回るのではないかと予想しています。

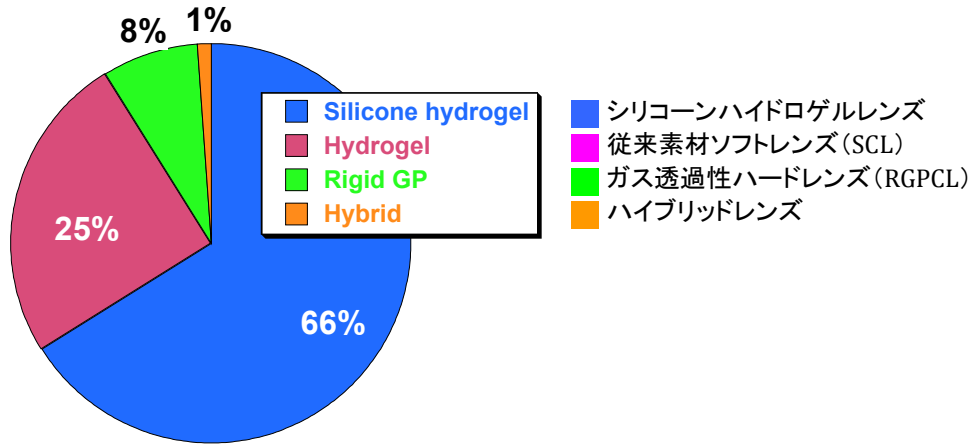


Figure 2 - Materials (US)

図 2. コンタクトレンズ素材ごとの割合

図 3 は、コンタクトレンズをレンズタイプ別に分類し、その割合を示したものです。最も多いのは球面ソフトコンタクトレンズで 54%、次にトーリック(乱視用)ソフトコンタクトレンズ(22%)が続きます。ソフトトーリックレンズの中でもシリコンハイドロゲルレンズのものが多くなり(66%)、これから増え続けるでしょう。

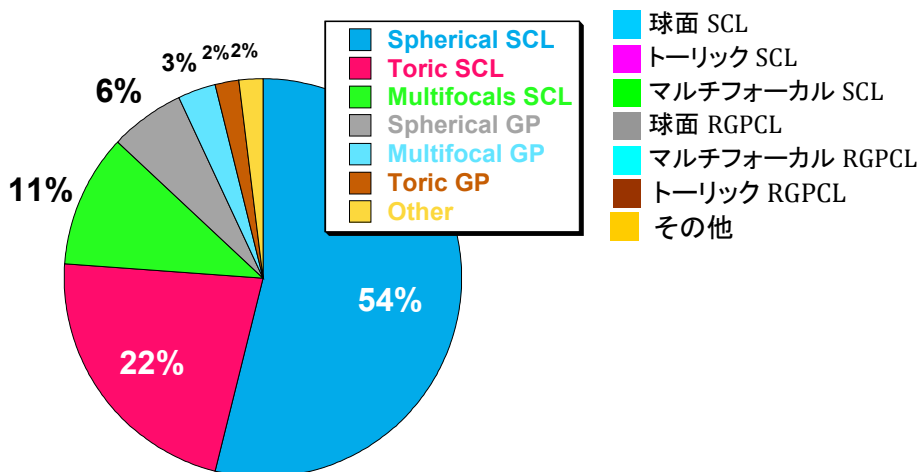


Figure 3 - Lens types (US)

図 3. コンタクトレンズ種類別の割合

2010年にアメリカでもっとも多かったコンタクトレンズ交換スケジュールは、1ヶ月交換(患者の42%)でした。2週間交換(36%)のスケジュールではコンプライアンスが悪くなると医師たちが考えているので、1ヶ月交換や1日交換(13%)を勧める傾向があります。

表1は、モノビジョンやマルチフォーカルコンタクトレンズを処方された老視患者の割合です。医師は、2011年にはマルチフォーカルコンタクトレンズの割合を増やす予定であることを示しました。

表1. 老視に対する処方

レンズ種類	%
モノビジョン	16%
マルチフォーカル SCL	16%
マルチフォーカル RGPCL	3%

この記事の最後には、コンタクトレンズケア用品について書かれていました。いま、アメリカでは患者の77%がマルチパーパスソリューションを使い、22%が過酸化水素消毒剤を使用しています。アメリカ市場における過酸化水素消毒剤のシェアはここ数年でゆっくと増加しています。表2に主要なコンタクトレンズケア用品を示します。

表2. ソフトレンズケア用品

ケア用品名	%
Opti-Free Replenish	27%
Clear Care	13%
Renu Fresh	12%
Opti-Free Express	9%
Complete Easy Rub	7%
その他	32%

この記事は、Contact Lens Spectrum のウェブサイト <http://www.clspectrum.com/article.aspx?article=105083> からご覧になれます。

International Contact Lens Prescribing in 2010

By Philip B. Morgan, PhD, MCOptom and others

この記事は、国際的なコンタクトレンズ処方動向について Contact Lens Spectrum が年 1 回報告しているもので、今回で 10 回目となります。27 カ国の医師たちを対象に行なったコンタクトレンズ処方 24,642 例の調査結果です。南アメリカ、アフリカ、イスラエル以外の中東諸国からのデータは含まれていません。調査対象国と報告数は下の表 3 に示してあります。このニュースレターの中でまとめたデータは記事の表をもとにしたものです。グラフも記事の数値をもとにニュースレター用に作ったものです。

表 3. 調査対象国と報告数

東アジア・環太平洋		中央アジア・中東		ヨーロッパ		アメリカ	
オーストラリア	839	イスラエル	790	ブルガリア	870	アメリカ合衆国	661
中国	841	ネパール	60	チェコ	549	カナダ	982
香港	450	ロシア	795	デンマーク	297		
日本	5,066			スペイン	1023		
ニュージーランド	982			フランス	2176		
韓国	872			クロアチア	210		
台湾	1,040			アイスランド	38		
				リトアニア	627		
				オランダ	1231		
				ノルウェイ	1552		
				ポルトガル	500		
				ルーマニア	139		
				スウェーデン	945		
				スロベニア	158		
				イギリス	949		

調査したコンタクトレンズユーザー全体の 67% が女性で、平均年齢は 31.0 歳でした。日本 (68%、30.4 歳) とアメリカ (62%、32.9 歳) の数値はこれに近いものでした。処方全体の 35% が新規処方で、65% が再処方でした。

下の図 4 に、調査対象の 27 カ国で処方されたコンタクトレンズのタイプ別 (ハードレンズ、オルソケラトロジー、1 日使い捨て、ソフトレンズ、シリコンハイドロゲルレンズ、連続装用) の割合を示します。

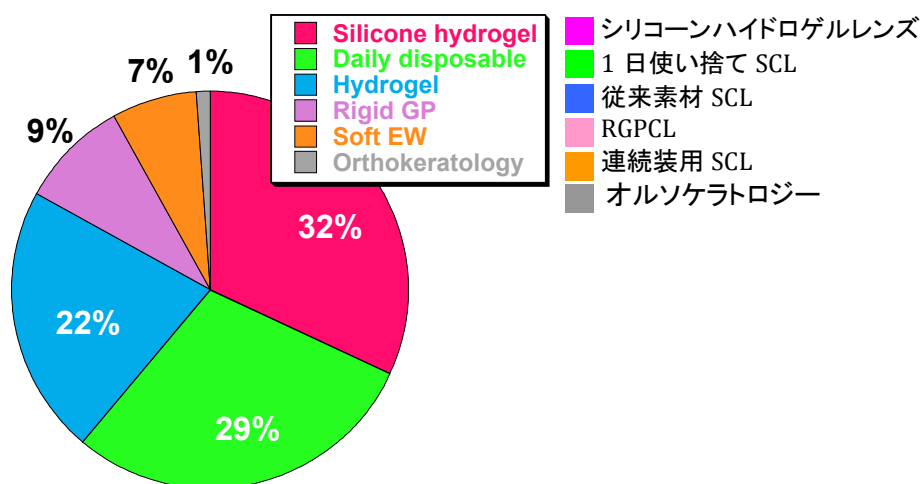


Figure 4 - Lens type

図 4. コンタクトレンズ種類別の割合

表 4 には、ガス透過性ハードコンタクトレンズの処方割合が多い日本を含む 4 カ国を示しました。オーストラリア、アイスランド、リトアニア、ルーマニア、台湾は 2010 年にハードレンズの処方が 0%でした。オルソケラトロジーレンズの処方は、ポルトガル(処方の 8%)、オランダ(6%)、ニュージーランド(4%)を除く全ての国々で 0%でした。

表 4. ガス透過性ハードレンズの処方の多い国

オランダ	24%
イスラエル	21%
日本	20%
クロアチア	20%

筆者は、処方の報告が比較的少なかったアイスランドとネパールを除いた 25 カ国の処方動向データを解析しました。以下の数値は 25 カ国の統計データです。図 5 に、各国のソフトコンタクトレンズ新規処方割合を示します。オーストラリア、中国、リトアニア、ルーマニアは全て 100%、最も低かったのはポルトガルの 67%、日本とアメリカはそれぞれ、88%と 97%、全体では 90%でした。

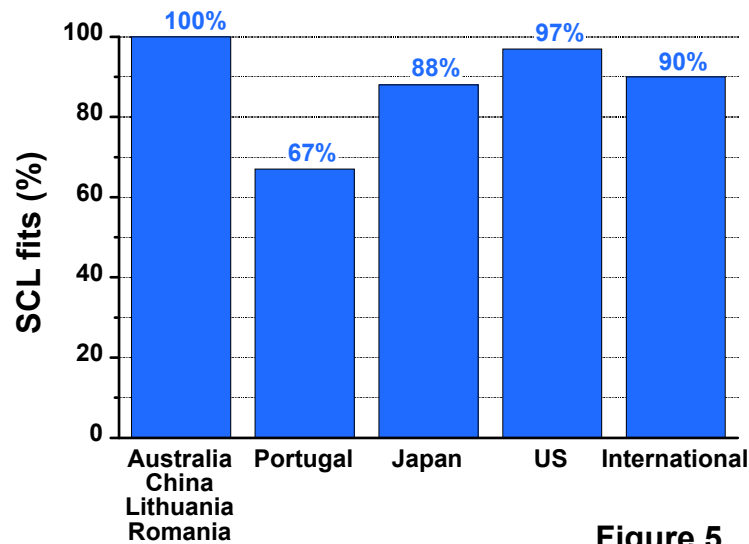


図 5. 各国のソフトコンタクトレンズ新規処方割合

図 6 に、シリコーンハイドロゲルレンズの処方割合を示します。最も高かったのがフランスの 86%、最も低かったのが中国、台湾の 1%でした。比較のために日本とアメリカのデータ、25 カ国の平均値を載せておきます。

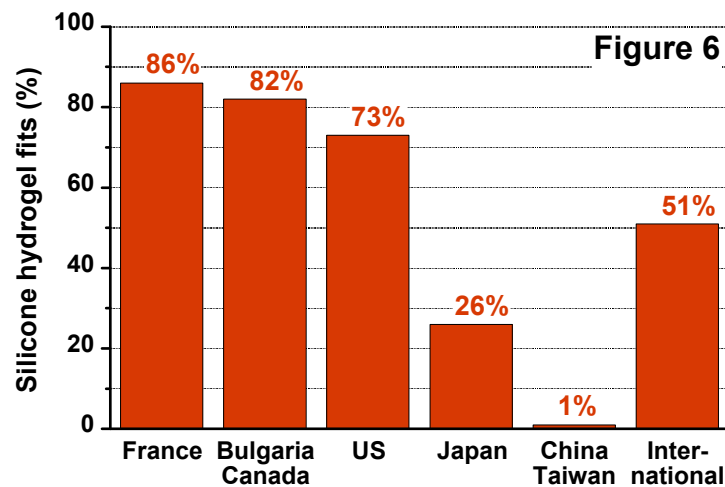


図 6. シリコーンハイドロゲルレンズ処方割合

図 7～9 に、日本、アメリカ、オランダにおける、ソフトコンタクトレンズの種類別処方割合（球面、トーリック、カラーレンズ、マルチフォーカル/モノビジョン）を示しました。また図 10 に 25 カ国の平均値を示します。オランダはトーリックレンズの処方割合が最も高い国のひとつです。

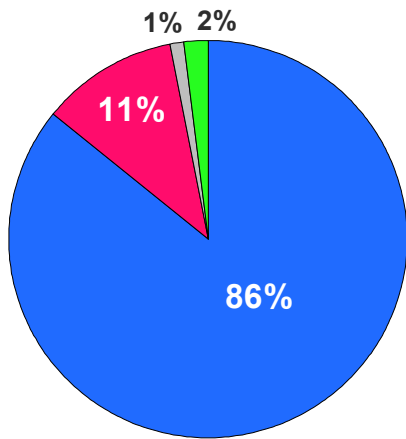


Figure 7 - SCL type (Japan)

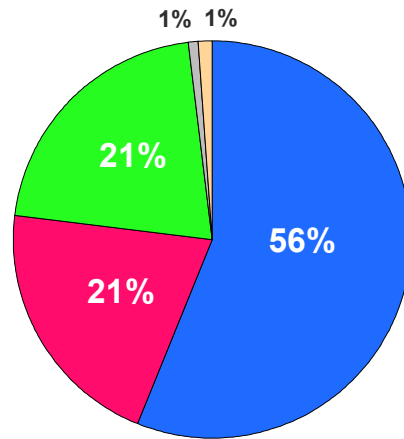


Figure 8 - SCL type (US)

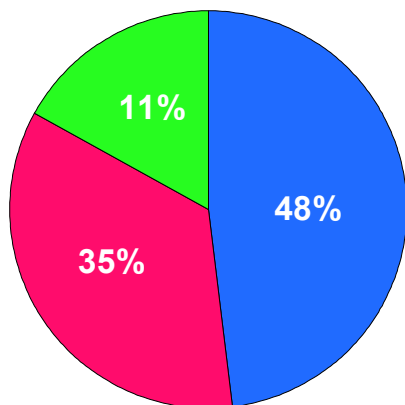


Figure 9 - SCL type (Netherlands)

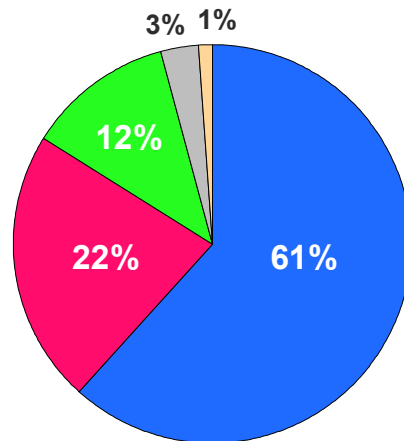


Figure 10 - SCL type (International)

図 7～10. 国別ソフトコンタクトレンズ処方割合（図 7:日本、図 8:アメリカ、図 9:オランダ、図 10:25 カ国平均）

- 球面 SCL
 - マルチフォーカル SCL
- トーリック SCL
 - その他
 - カラー SCL

図 11～14 に、日本、アメリカ、香港および 25 カ国の平均における、コンタクトレンズ交換スケジュール別の割合（毎日、1～2 週間、1 ヶ月、3～6 ヶ月、1 年）を示しました。香港は、25 カ国中もっとも 1 日使い捨てレンズの割合が高い国でした。

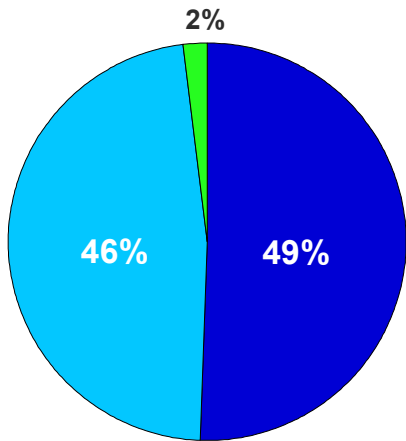


Figure 11 - Replacement (Japan)

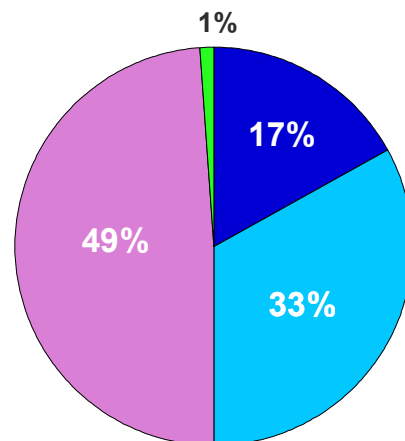


Figure 12 - Replacement (US)

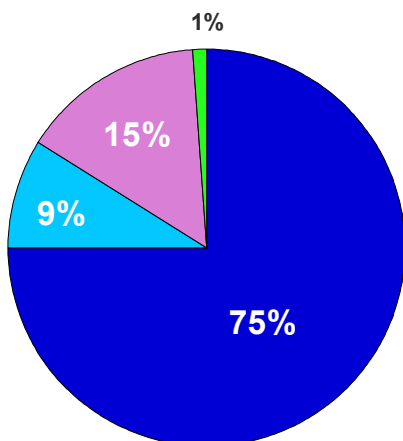


Figure 13 - Replacement (Hong Kong)

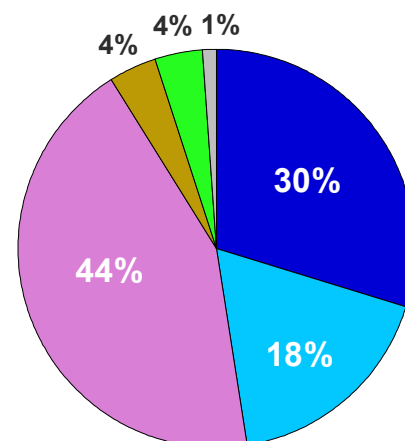


Figure 14 - Replacement (International)

図 11～14. 国別レンズ交換スケジュール (図 11:日本、図 12:アメリカ、図 13:香港、図 10:25 カ国平均)
 ■ 1 日使い捨て ■ 1～2 週間交換 ■ 1 ヶ月交換
 ■ 3～6 ヶ月交換 ■ 1 年交換 ■ その他

図 15 に、老視患者におけるマルチフォーカルコンタクトレンズあるいはモノビジョンを処方された人の割合を示しました。中国、韓国、台湾はマルチフォーカルレンズの処方が 0%でしたが、アメリカでは比較的高い数値を示しました。韓国と台湾はモノビジョン処方も 0%でした。マルチフォーカルあるいはモノビジョンで処方された人以外がどのように矯正されていたのかについて記事に記述はありませんでした。

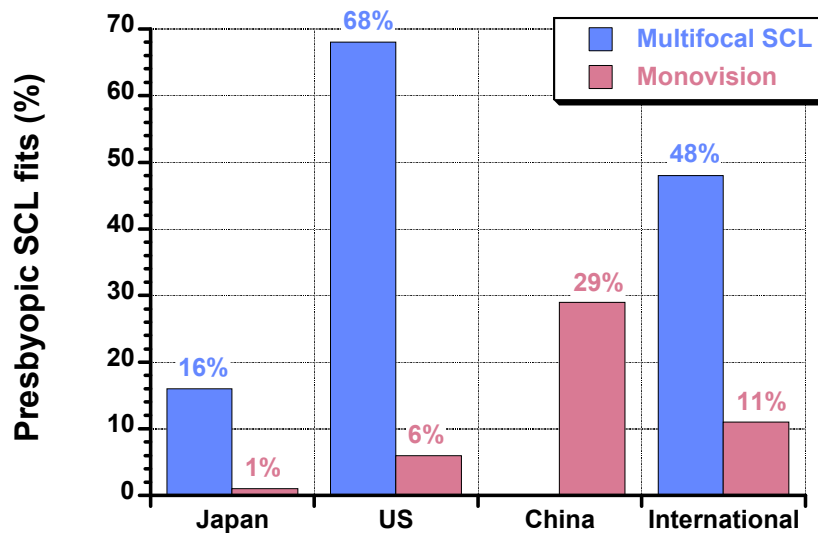


Figure 15

図 15. 国別マルチフォーカルソフトコンタクトレンズとモノビジョン
■ マルチフォーカル SCL ■ モノビジョン処方

連続装用で処方されたのは、新規処方全体のわずか 6%、再処方の 9%でした。2010 年に連続装用で処方されたのは新規処方、再処方あわせて 78%がシリコーンハイドロゲルレンズでした。マルチパーパスソリューションを使用しているのは 25 カ国の平均で 88%、最低はルーマニアの 72%、最高はブルガリアの 100%でした。

この 2 つの記事のアメリカの統計数値は矛盾するように思える点がありましたが、どちらの記事にもそれについての説明はありませんでした。

この記事についてもっと詳しく知りたい人は、Contact Lens Spectrum のウェブサイトの記事を読むことができます。
<http://www.clspectrum.com/article.aspx?article=105084>

Contact lens news briefs

Avaira Toric Contact Lens に関する CooperVision の発表

(CooperVision USA press release, January 18, 2011)

アメリカで CooperVision のシリコンハイドロゲルレンズは、Biofinity (1 ヶ月交換)、Avaira (2 週間交換) の 2 種類があります。Avaira のトーリックレンズは、昨年 6 月から試験的に市場に供給され、非常に好評を得ました。CooperVision は先月、Avaira のトーリックレンズを全国展開することを発表しました。新聞発表によると、「Avaira toric は、全てのパワーのレンズにおいてバラスト部の水平方向の厚みが一定であり、そのことがレンズの安定性を増し、レンズの回転を抑えています。また、幅の広いバラスト部分とジャンクションのない滑らかなレンズ表面のために、レンズと眼瞼の相互作用が小さくなり、レンズの安定と快適性を両立しています」とのことです。下の表に Avaira トーリックと Biofinity トーリックの諸元をまとめます。



	Avaira toric	Biofinity toric
レンズ素材	enfilcon A	comfilcon A
含水率 (%)	46	48
酸素透過係数 (Dk 値)	100	128
交換スケジュール	2 週間交換	1 ヶ月交換
球面度数 (D)	0~-6.00	+8.00~-10.00
円柱度数 (D)	-0.75, -1.25, -1.75	-0.75, -1.25, -1.75, -2.25
軸度 (°)	10~180 (10 step)	10~180 (10 step)
直径 (mm)	14.5	14.5
ベースカーブ (mm)	8.5	8.7

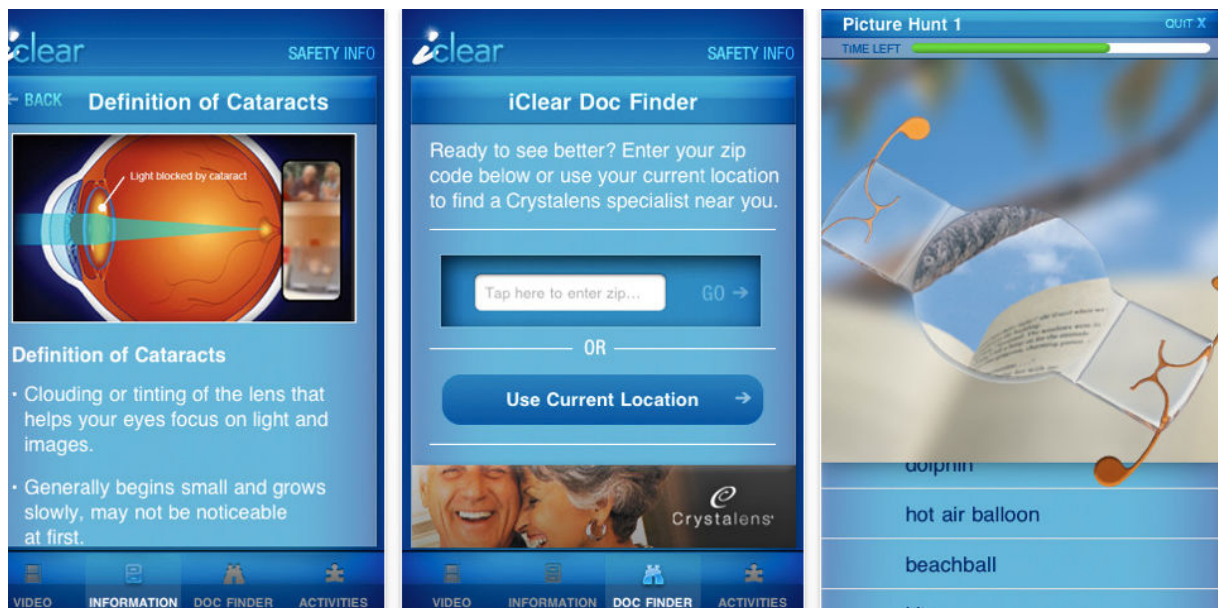
Alcon と Novartis が条件に合意

スイスに本社がある世界最大の製薬会社の 1 つ、Novartis による Alcon の合併が合意に達しました。Novartis は Ciba Vision と Sandoz pharmaceuticals も傘下に入れていますが、Novartis は Alcon の株式を 2008 年から買い始め、2010 年 12 月に完全に合併する合意に達しました。

Bausch + Lomb が新しい iPhone のアプリケーション、Crystalens iClear を発表しました

(Bausch & Lomb press release, January 10, 2011)

Bausch + Lomb (B+L) は、iPhone 用フリーアプリケーション、Crystalens iClear を発表しました。これは、B+L の新しい調節可能 IOL、Crystalens に関する教育的アプリケーションです。Crystalens を入れた場合とそうでない場合の遠方、近方の見え方のシミュレーションや、白内障に関する情報などが入っています。また、眼科医の検索機能も備えています。B+L はこの他に 2 つの iPhone アプリケーションを提供しています。1 つは製品案内で、もう 1 つは眼科医向けのトーリックレンズオーダー用アプリケーションです。



ARVO2011



VISIONARY GENOMICS
FORT LAUDERDALE, FL
MAY 1-5, 2011

今年の ARVO は 5 月 1～5 日にフロリダ州フォートローダーデイルで開催されます。今年のテーマは「Visionary Genomics」です。ARVO は世界最大の眼科関連の学会で、世界中から何千人もの医師や研究者が集まります。抄録の提出期限はすでに終了していますが、出席の申し込みとホテルの予約はまだ間にあいます。詳しくは ARVO のウェブサイトをご覧ください。 <http://www.arvo.org/EWEB/startpage.aspx?site=am2011>

昨年の 5 月号から 9 月号のニュースレターに、昨年の ARVO の研究発表に関する記事を掲載しています。ご興味のある方はそちらもご覧ください。 <http://www.coopervision.jp/professional/material/salmon.html>

(翻訳：小淵輝明)

『 Eye & Contact Lens 日本語版 』のご案内

アメリカのコンタクトレンズ学会 CLAO (Contact Lens Association of Ophthalmologist) が発行する学会誌『 Eye & Contact Lens 』より、最新論文の抄録を日本語訳でお届けします。

クーパービジョン・ジャパンのプロフェッショナルサイトからどうぞ。

クーパー 4e	検索
http://www.coopervision.jp/professional/	



クーパービジョンのプロフェッショナルサイトでは、オンラインセミナー、コンタクトと乾燥 基礎講座、エンハンスウェブマガジン、CL 資料ダウンロードなど、コンタクトレンズ診療に役立つ情報をお届けしています。